

**【補足資料】皆様からの主な意見（1月16日版）**

## 8/15 第2回北川村教育連絡協議会

回答者：17名（保小中教職員）

### ○【学び】保小中一体化

- ・保小中それぞれの施設が離れている。日々の活動の様子が分からず、例えば、保育所が小学校に近いと円滑な接続につながるのではないか。
- ・みんなが集まれる施設（例：調理室、図書館、菜園）があればよい。
- ・（小中の）職員室・校舎の一体化は必須。
- ・学童（※正確には「放課後こども教室」。以下同じ。）と別に教員同士が会議できるところ。
- ・施設だけでなく、学びの連携（カリキュラムマネジメント）・魅力化が大事。

### ○【学び】北川学・特別教室

- ・小学校には（専用の）理科室・家庭科室がなく、実験・調理ができない場合がある。
- ・図書室に、調べたり、話し合いできるスペースがあるとよい。（村の図書館と一緒にしてはどうか。）
- ・自習室やワークスペースがあるとよい。放課後は学童があって使えない。
- ・パソコン室：パソコンが不要。
- ・音楽室：音楽室と英語教室と同じ部屋なのは不便。
- ・体育館の使用には不便さを感じる。
- ・北川学の取組に活用できるよう、資料やデータを見られる場所があるとよい。
- ・北川学の各学年の取組の様子を他の子ども・地域の方々に掲示できるスペースがあるとよい。
- ・多目的教室（ワークスペース）が複数あると、小中又は保小中で活動ができるのではないか。広く作っておいて可動式の壁で仕切っておくとよいかもしれない。
- ・北川学に生かせる施設はあっても、その施設をどのように活用するかを考えなければならない。

### ○【学び】食育・給食

- ・調理場が中学校から遠く、中学生が給食を取りに来るのが大変そう。
- ・調理室（保育室）の充実：手洗い場でお米や野菜を洗っているので専用の洗い場があるとよい。
- ・小中で調理室が共用のため、使いにくさを感じことがある。
- ・調理室↔ランチルーム↔給食室を1つの棟にまとめてほしい。
- ・調理室：衛生環境が保たれていない。小中一緒に授業の被りがあると厳しい。

### ○【生活】快適な学習・生活空間

- ・2階に保育室があるので移動が危険。1階が望ましい。
- ・ほふくスペースが狭い。（1、2歳児保育室のスペースが含まれているため）
- ・職員室が狭く、作業・休憩・会議などが職員室内でさっとできれば効果的な時間となるのではないか。（立ったままミーティングなど）

### ○【共創】地域との共創空間

- ・多目的ホールを学校と学童で共用しており、不便。
- ・ホール：発表などができる音響設備が整ったもの。村のイベントにも使える。
- ・共用するのはよいが、空いているかどうかの確認が煩雑にならないように考えてほしい。

○【安全】安全・安心な教育環境

- ・体育館まで行くときに外に出ないといけない。（道路も危ない。雨の時も困る。）
- ・（小学校も、中学校も、）2階にトイレがない。教職員用のトイレが1台しかない。
- ・ベランダがない。（不審者が来た時に逃げられない。）
- ・玄関近くに、職員室、校長室がないので、外部から来た人が分からない。
- ・死角が多く、校舎内に機械警備と見守りカメラ等を設置すべき。（校舎の配置も複雑にならないようにしてほしい。）
- ・身体的な活動が困難な児童生徒にとっては今の構造だと生活が難しい（移動面）。
- ・体育館にクーラーをつけてほしい。

## 12/15 第3回保小中一体化施設整備基本計画検討委員会

出席者：13名（委員・アドバイザー）

### ○【学び】多様な学び・保小中一体化

- ・異年齢間の育ち合いが行事だけではなく日常的に繋がれるような施設。例えば、年長児が休み時間等に一年生等と関わる環境（例：運動場、図書室、プール、給食室）があるとよい。
- ・可動式の壁など。仕切り（壁、ドア等）の少ない活動スペースがよい。
- ・センターホール（図書室）を備えた造り。
- ・保小中お互いの様子が見えるように、ガラス等で、オープンな空間にするとよい。
- ・保育園児が小・中学生の体育や音楽などの授業を自然と見られる環境。
- ・保小中の物理的な距離を縮める。必ずしも1つの教室に1つの学年でなくてもよい。
- ・小中学生が教室に行くまでの動線に保育所があつて様子が見えるようにする。
- ・子どもたちが学習場所を自由に選択できるようにするとよいのではないか。
- ・（教室のほか、）ゆずか畑など、保小中の子どもたちが一緒に栽培ができるスペース。
- ・多様な子ども一人一人に合わせた教育ができる指導方法を実践できるようにすることが重要ではないか。
- ・保小中の一体的な教育のためには、系統的な学び、組織的な取組などが必要。

### ○【生活】快適な学習・生活空間

- ・（交流スペースだけでなく、）繋がらない場所、個でもじっくり・ゆっくりできる場所が必要ではないか。
- ・少なくとも多様な子がストレスなくいられるように、なるべく仕切りのないスペースが必要ではないか。
- ・教室の間に、繋がる部屋と繋がらない部屋を作るとよいのではないか。
- ・平屋にする。

### ○【共創】地域との共創空間

- ・村民も集い、共に学べる場・協働できる場。例えば（できれば平日利用可能な）図書館、サロンがあるとよいのではないか。
- ・見渡せば大人も、子どもも、視界に入るような造り。
- ・遊具を共用できるものとする。

### ○【安全】安全・安心な教育環境

- ・バリアフリーに配慮した環境が必要。

## 12/19 保小中一体化に向けた意見交換会及びアンケート

回答者：25名（保小中保護者）

### ○【学び】探究・保小中一体化

- ・（先生方の情報共有がスムーズに行えるよう、）小・中学校の職員室を一つにする必要。
- ・保育所は完全に分離できる設計でないと、児童生徒・教職員が不便。
- ・（偏差値や受験に直接関係する教科学習も大事にしつつ、）探究学習の実践に向けた教員の研修や勉強会を充実させてほしい。
- ・義務教育学校となっても、教員は異動で入れ替わっていくので、必要な伝達が行われているか、小中学生のサポートに十分当たれているかなど、教員皆で確認しながら進めてほしい。

### ○【生活】快適な学習・生活空間

- ・園舎が古い。冬は日当たりが悪く、寒いので、小中と合わせて建て替えて良い。
- ・決まった広さの／区切られた教室の中で前に詰めて学習机がいくつかあるのはもったいないので、もっと開放的な空間で、もっと他学年と一緒に遊んだり、学習できる形の学び舎にしてほしい。

### ○【共創】地域との共創空間

- ・（子どもたちが少なくなっている中で、多額のお金を使うなら、）災害時の避難所、緊急時の宿泊施設、地域の人たちも使える図書室など、地域の人たちも使える施設にするとよい。
- ・子どもたちが放課後・休みの日に使えるスペース（広場、校庭、屋内スペースなど）があると良いのではないか。（現状、駐車場で遊んでいるのを見るが、危なさを感じる。）
- ・（北川村には公園がないため、）子どもたちが放課後・休みの日に使えるスペースのほか、地域の大人たちも集まる図書スペースやカフェスペースなども検討してみたらどうか。
- ・（地域の人たちが気軽に使えるよう、）図書スペースや、勉強スペース、会議室、キッチン、簡易的なカフェ、イベントスペース等があれば保・小・中・地域の方々と触れ合う機会が増えるのではないか。
- ・被服室、技術室、美術室、音楽室などの特別教室は土・日に地域住民も使って学べるスペースとして開放する案を検討してほしい。

### ○【安全】安全・安心な教育環境

- ・保育の送り迎え時に駐車場までの道が狭く、死角が多く危ないので、駐車場を安全に利用できるようにしてほしい。
- ・子どもの安全性が確保されていることが大事。

### ○その他

- ・地域に学校があることが大切なので、今後子どもが減っていっても存続できる形を検討してほしい。
- ・施設が整備されると良い面はあると思うが、複式で各教科を教えながら教職員が様々な仕様の教室を活用できるか。
- ・財政的に厳しいと聞くので、税収、国の補助金など、よく調整してほしい。また広く情報発信してほしい。
- ・（子どもたちが少なくなっており、）新たな校舎を作るのは厳しいのではないか。今ある校舎を改修できないのか。
- ・中学校制服の変更を検討してあげてほしい。何十年も変わっていないので、もう少し都会的なデザインに変えてはどうか。（単純に制服がカワイイ・オシャレだと北中進学の選択肢になると思う。）
- ・中学校部活動を中芸全体でできるよう進めてほしい。（部活動だけが問題なのではないが、）北中の選択肢が少しでも残るようにしてあげたい。
- ・保小中の体制が整うまでのこれからの数年間で中学生になる子どもたちのことも考えてあげてほしい。例えば、他校との交流、部活動の統合など、今からできることを検討してあげてほしい。

12/20 新しい学び舎づくりワークショップ

参加者：13名（村民（子どもを含む。））

○【学び】多様な学び・保小中一体化

- ・休み時間に保育園児・小中学生が遊べる施設になるとよい。
- ・職員室の統合が第一。
- ・（保小中のみならず、）村民会館が離れており、教職員と教育委員会がもう少し近くで仕事ができるとよいのではないか。
- ・教室の全部の壁をスクリーンにする。
- ・可動式の壁の教室がよい。
- ・四角く区切られない教室であれば多用途に使えるのではないか。
- ・少人数だからこそ、一つの大きな空間の中で多学年で学習できるとよいのではないか。
- ・丸テーブルを置くと（議論・交流に）多用できるのではないか。
- ・子どもがチャレンジできる環境。

○【学び】北川学・特別教室

- ・温かみがあって、リラックスできる相談室・保健室。例えば、クッションを置いたりするとリラックスできる。
- ・教科ごとの教室があると飽きない。

○【学び】食育・給食

- ・明るく、木のぬくもりを感じられるなど、もっと楽しく食べられるランチルームにしてほしい。
- ・みんなで給食を食べるテラスが欲しい。
- ・ランチルームの机・椅子等を新調して雰囲気作りからやってはどうか。
- ・中学校はランチルームまで遠い。

○【生活】快適な学習・生活環境

- ・（窓を大きくするなど）明るく、開放感がある＝壁が少ない部屋づくり。
- ・子どもがお気に入りの場所がある学校。例えば、本を読んだり、お菓子を食べたり、子どもの隠れ家的な部屋が欲しい。
- ・休憩スペースが欲しい。ソファやヨギボーがあったら尚よい。
- ・座り心地のよい椅子が欲しい。
- ・静かに過ごしたい子のためにも小さなスペースがあるとよい。
- ・トランポリンを置いてほしい。
- ・トイレの入口に扉がなく、見えててしまうので、扉があるトイレにしてほしい。
- ・トイレの環境整備：トイレを全部洋式化してほしい。
- ・床暖房が欲しい。
- ・桜並木が感じられる造り。
- ・学校に行くのが楽しみになる造り。
- ・わくわくするような色使いの保育園だとよい。
- ・校則を子ども自身が決めることができる学校。

### ○【共創】地域との共創空間

- ・子どもの発表・様子を（参観日だけでなく）いつでも地域のみんなが見られるスペースがあるとよい。
- ・図書室（小2、中1、村民会館1）を1つにまとめて、村民も使える図書館にしてほしい。
- ・本がたくさんあって、村民も使える図書館がほしい。
- ・図書館とカフェスペース（憩いのスペース）を合体させて住民も使えるようにするのがよいのではないか。
- ・休日にもふらっとコーヒーや給湯など使える空間。
- ・役場に寄るついでに寄れるところ。
- ・1階（図書館や調理室など）は地域に開放してほしい。
- ・特別教室（技術室、調理室、被服室など）を貸し出してくれる。
- ・自習室やクッキングスペースがあるとよい。
- ・地域の子ども・大人が集い、遊べる公園（広場）・遊具があるとよい。
- ・雨の日に室内でも子どもが遊べる場所があるとよい。
- ・災害時に地域の方も安心して使える避難所となるようにしておく。
- ・地域の人たちが面倒を見てくれる学校。
- ・村内統一で運動会を実施してはどうか。
- ・他校との交流も活発になるとよい。

### ○【安全】安全・安心な教育環境

- ・段差を少なくすべき。
- ・芝生のグラウンドが欲しい。
- ・避難できるスペースがなく、ベランダや滑り台など避難動線が欲しい。
- ・エレベーターがあると荷物や給食を安全に運ぶことができる。
- ・教室から体育館へ行ける連絡通路をつくってほしい。
- ・体育館にエアコンを付ける。
- ・自転車置き場を広くしてほしい。

### ○【環境】持続可能な教育環境

- ・木をたくさん使った教室だと、温かみがあるし、環境にもよい。

### ○その他

- ・ゆずの花など、村の他の施設をうまく活用する。

<p>○【学び】保小中一体化</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・小中の職員室を一緒にすることが必要。</li><li>・職員室に、気軽に話合いができる移動式デスク、ちょっと込み入った話ができる小部屋などがあると良い。</li><li>・子ども同士の交流・異学年交流を実践できるようにするためには、気軽に話し合えるスペースや壁を取っ払えるオープンスペースがあると良い。</li><li>・（環境整備はもちろんのこと、）保小中の教職員が繋がりを意識し、お互いを理解し、連携していくことが大事。</li><li>・保育・小学校・中学校で行える活動を増やしていくことが必要ではないか。</li></ul>
<p>○【生活】快適な学習・生活空間</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・利便性の良さ、応用力のある教室。</li><li>・教室によっては、移動式の壁などで必要な広さに変更できること。</li></ul>
<p>○【共創】地域との共創空間</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・地域が子どもたちを見守れる・関わる環境づくりが必要。</li><li>・（将来、生徒数が減った場合に備え、）地域に開放できる部屋を意識して作ること。</li><li>・地域と同じ図書室を使えるのは良案。</li><li>・地域との関わりを持つためには、防災機能を十分に備えた環境も充実させた方が良いのではないか。</li><li>・施設（例えば体育館やホールなど）の地域開放については、ICTを活用して、予約したり、使用状況が確認できるようなソフトを活用できるとよいのではないか。</li><li>・図書室については、園、小、中、地域と一緒にするのであれば、司書担当を置き、運営もしてもらえるとありがたい。</li></ul>
<p>○【安全】安全・安心な教育環境</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・（地域の人が使えるようにすることは交流の面からはよいが、）安全面での不安があるので、セキュリティ面での仕組みづくりをしっかりしてほしい。</li></ul>